

山行記録

岩湧山（いわわきさん）

年 月 日	2022 年 10 月 24 日
天 気	晴れ
集合場所・時間	JR 芦屋 7:23
参加人数	13 名
歩行時間・距離	4 時間 10 分、11.5km
費 用	2600 円

コースタイム

滝畑バス停 9:50～トイレ（体操）9:58/10:10～第一ベンチ 10:25～カキザコ 10:50～第三ベンチ 11:25～第四ベンチ 11:40～岩湧山（昼食）12:20/12:50～五つ辻 13:30～五合目 13:55～三合目 14:10/14:20～紀見峠駅 15:20

感 想

行先遠い・集合早い・難易度一般という3悪？にもかかわらず通勤ラッシュにもまれて JR・その他交通機関で新今宮に集合したのは13名。漸く着いた南海 河内長野駅のバス停には、下見で得た情報<駅の出口に近い車両に乗り、駅に着き次第、超急いで停留所に行くべし>に従って皆さん向かったものの、既に長蛇の列。先に来ていた体育系高校生の団体が高齢者に席を譲ってくれて一名を除いて全員なんとか座れた。40分少しバスに揺られて標高220mの大阪で一番大きいという滝畑ダムに到着。きれいな休憩所がありトイレと体操を終えて20分遅れで出発。

今日もいい天気！と青空のもと、皆さん機嫌（気分？）よくお喋りをしながらよく整備された木の階段やヒノキの人工林の間のゆるやかな登山道を軽く汗をかきながら登っていく。同じころにスタートした山ガール3人組のグループに抜きつ抜かれつしながら（在芦屋の人がいたので会長自ら名刺とかを配りルベールの売り込みも）2時間ほどで岩湧山の下に到着。ヒノキの森がぱっと開けてその先には青空をバックに満開のススキとその間に階段が見えた。なんと美しいこと！ススキは丁度見頃で、少し開いたのや3-5分咲きが入り乱れていて、ススキ回廊となった階段を、咲いていた花々（初めて見た保護種のハバヤマボクチ・コウヤボウキ・リンドウ・アザミとか）も愛でながら登り、岩湧山山頂（897m）に予定より15分早く到着。既に30人位の人達が着いていて食事をしたり寝そべったりのんびりしていた。我々も朝が早くお腹も空いていたのでさっそく昼食を取る。頂上からは大阪湾全体が見渡せ河内長野の市街もすぐ近くに見えた。

食事を終えると少し先の三角点で記念撮影とトイレ。ここからは長い階段や林道を約2時間、ヒノキ林の間を抜け川の横を結構早いピッチで歩き予定より半時間近く早く紀見峠駅に着いた（上りでは皆さんしんどそうでしたので休憩を何度か取っていたのと大違い！下りはススキもないので早くなったのかも）。

ということで早起きをして遠い所に来た甲斐があったと皆さん喜んでおられました。楽しい気持ちの良い秋の日を満喫した次第です。今回歩いたのは大阪府・奈良県がダイヤモンドトレイル（ダイトレ）と称して1970年に整備した屯鶴峯から二上山や葛城山、金剛山、岩湧山を通して槇尾山へと至る約45kmの自然歩道の一部ですが、他の山で知らない山にも登ってみたいと思った次第。皆さん、早朝からお疲れ様でした。

<反省点>

ススキがたくさん生い茂っているところは殆どが上りの最後のところなのでそこでもっと時間を取って鑑賞したり写真を取ればよかったかもしれない。